

関連学協会情報

第 100 回塑性加工懇談会

「薄鋼板の精製ラインに於ける加工技術の現状と将来」

- 主 催：日本塑性加工学会
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 日 時：平成 3 年 2 月 28 日（木）13：00～17：00
- 会 場：学士会館分館
〒113 東京都文京区本郷 7-3-1（東大赤門隣）
TEL 03-3814-5541
- プログラム：
テンションレベラー設備の最近の進歩，テンションレベラー操業技術，トリマー，スリッター，エッジミラー等のせん断設備の進歩，インラインスキンパスミル設備技術の進歩，インラインスキンパスミル操業技術の進歩，ヘリカルターナー等の帯板走行設備の特徴と操業実績
- 定 員：50 名（定員になり次第締切り）
- 参加者：会員 4,000 円，学生会員は半額
- 申込先：日本塑性加工学会
〒106 東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル 3F
TEL (03)3402-0849 FAX (03)3402-0965

第 55 回塑性加工講習会

「多品種少量生産のためのプレスシステム」

- 共 催：日本塑性加工学会，千葉県機械金属試験場
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 日 時：平成 3 年 3 月 6 日（水）13：00～17：00
- 会 場：千葉県青少年婦人会館
〒260 千葉県千葉市天台 6-5-2
TEL (0472)87-1711
- プログラム：
多品種少量生産のためのプレスシステム，多品種少量生産に適した板金加工機械/システム，多品種少量生産のためのプレス自動化，少量生産のための型技術
- 定 員：50 名（定員になり次第締切り）
- 参加費：（テキスト代含）
会員 4,000 円，学生会員は半額
- 申込先：日本塑性加工学会
〒106 東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル 3F
TEL (03)3402-0849 FAX (03)3402-0965

第 38 回シンポジウム

材料解析の最新技術とその応用

- 主 催：軽金属学会
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 日 時：平成 3 年 3 月 15 日（金）9：30～17：00
- 場 所：神楽坂エミール 3 階
（東京都福利厚生事業団教育会館）
東京都新宿区赤城元町 1-9 TEL (03)3260-3251
- プログラム：

金属基複合材料における異相界面の高分解能電顕による解析，結晶方位の ECP による解析とその材料学への応用，材料解析における分析電顕 EDS 法と応用，析出粒子の高分解能・分析電顕によるキャラクタリゼーション，微細析出相のアトム・プローブ-FIM による組成分析，水素の微視的分布の解析—アルミニウム合金におけるトリチウムオートラジオグラフィ—，介在物の疲労き裂進展と破壊の AE による解析，材料組織解析への画像処理への応用

- 参加費：会員 7,000 円，学生会員 3,500 円
- 定 員：90 名
（申込み先着順，定員になり次第締切り）
- 申込先：軽金属学会
〒103 東京都中央区日本橋 2-1-3 日本橋朝日生命館
TEL (03)3273-3041

新時代を担う構造接着技術

—その基礎と自動車ボデーへの適用—

- 主 催：自動車技術会
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 開催日：1991 年 3 月 18 日（月），19 日（火）
- 会 場：アルカディア市ヶ谷・3F
東京都千代田区九段北 4-2-25
TEL (03)3261-9921
- プログラム
第 1 日（3 月 18 日，13：00～19：45）
構造接着技術の基礎と適用，鋼板接着継手の試験評価技術，FRP 接着継手の試験評価技術
懇談会（軽食・ドリンク付）5F・穂高
講演者と参加者との技術討論の場
第 2 日（3 月 19 日，9：30～17：10）
構造接着剤実用化のための課題，自動車用鋼板と構造用接着剤，構造接着剤の経年信頼性評価技術，構造接着剤応用のメリット追求
- 参加費：（3 月 18 日～19 日）
会員 12,000 円，学生会員 6,000 円
- 定 員：230 名（定員になり次第締切り）
- 申込締切日：1991 年 3 月 4 日（月）当日消印有効
- 事務局：自動車技術会・技術交流部門
TEL (03)3262-8211 FAX (03)3261-2204

講習会 Talk 制御理論

新たな制御理論の枠組みの構築をめざして（3）

- 主 催：計測自動制御学会
- 協 賛：日本鉄鋼協会，他
- 日 時：平成 3 年 4 月 17 日（水）～19 日（金）
- 会 場：名古屋サンプラザ（名古屋勤労福祉センター） 名古屋市名東区藤里町 TEL 052-774-0211
- 内 容：前日 21：00～23：00 トーキング

第 1 日 9:00~18:00

モリブデンと制御系設計の不可分性、モデリングと
同定—いま、これから H^∞ 制御とは何か・ H^∞ 制御
の最前線、 H^∞ 制御を 256 倍に使うには、

第 2 日 9:00~17:00

制御系設計例 1・例 2、新しいサンプル値制御理論、
コバリアンスコントロール

6. 参加費：(宿泊、食事、懇親会費を含む)

A コース：37,000 円 B コース：32,000 円

7. 定 員：先着 50 名

8. 申込先：〒113 東京都文京区本郷 1-35-28-303

計測自動制御学会 TEL (03)3814-4121

第 6 回産業における画像センシング

技術シンポジウム論文募集

非破壊・非接触計測における

画像処理を中心として

1. 主 催：日本非破壊検査協会

2. 協 賛：日本鉄鋼協会、他

3. 日 時：平成 3 年 7 月 10 日 (水)、11 日 (木)

4. 場 所：コクヨホール (品川駅東口)

港区港南 TEL (03)3450-3712

5. 論文募集の範囲：非破壊試験・非接触計測・画像計測
・寸法計測・形状計測・パターン計測・三次元計測・材
質検査・目視検査・物体の判別・ロボットビジョン・組
立の自動化・FA・CT・以上に関するセンサ・イメージ
ング・処理・伝送・表示・蓄積システム・専用プロセッ
サ・応用システム。

6. 構 成：招待講演と、応募による一般講演およびポ
スター講演

7. 応募資格：特に資格を問いません。

8. 講演申込締切：平成 3 年 3 月 29 日 (金)

原稿締切：平成 3 年 4 月 30 日 (火)

9. 参加費：1 名 20,000 円 (予稿集を含む)

10. 参加申込締切：平成 3 年 5 月 31 日 (金)

11. 問合せ・申込先：

〒111 東京都台東区浅草橋 5-4-5 ハシモトビル 3
F 日本非破壊検査協会『第 6 回産業における画像
センシング技術シンポジウム』係

TEL (03)3863-6521 FAX (03)3863-6524

12. 併設展示会：当日、併設展示会として『非破壊・非
接触計測機器展』(入場無料)を開催

展示問合せ：精機通信社 TEL (03)3367-0571

(担当 松下 要)

新しい技術の報告論文の原稿応募

1. 主 催：大阪府土木技術事務所

2. 応募内容：公共事業を推進するための新しい技術の
紹介、都市計画、コンクリート、地盤改良、基礎杭
工法、仮設工橋梁構造物、シールド、トンネル、河川、
港湾、上下水道、鉄道、建築、その他の部門。

3. 原稿提出締切：平成 3 年 4 月 30 日 (必着)

4. 原稿の項目：

①新工法及び新材料の概要

②新工法及び新材料の特徴

③新工法及び新材料の詳細な説明

④新工法及び新材料の実施データ

⑤新工法及び新材料の実施例

⑥新工法及び新材料の歩掛及び単価

⑦特許等のある場合はその番号

5. 問合せ先：〒590 大阪府堺市南田出井町 1-1-10

大阪府土木技術事務所 技術指導課 企画係

TEL (0722)29-3321 FAX (0722)23-7282

シンポジウム

「高度情報化時代の情報処理技術者」

—情報処理技術者の育成と確保—

1. 主 催：システム制御情報学会

2. 協 賛：日本鉄鋼協会、他

3. 日 時：1991 年 2 月 7 日 (木)、8 日 (金)

4. 会 場：なにわ会館 葛城の間

大阪市天王寺区石ケ辻町 19-20

5. 参加費：(資料 1 冊含む/消費税込)

会員 8,000 円 (協賛学協会員含む)、学生 4,000 円

6. 定 員：100 名 (定員になり次第締切り)

7. 日 程：

2 月 7 日

情報処理技術者不足の現状 京都産業大 宮野 高明

情報処理技術者不足の背景 京都学園大 福田 得夫

情報処理技術者育成 住友電気工 柴田 潤

2 月 8 日

情報処理技術者確保 龍谷大 法雲 俊邑

特別講演 三菱電機 松本啓之亮

パネルディスカッション 京都産業大 宮野 高明

8. 申込み・問合せ先：

〒606 京都市左京区吉田河原町 14 番地

近畿地方発明センタービル内システム制御情報学会

TEL 075-751-6413 FAX 075-751-6037